

第 3 回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

リニア中央新幹線工事に関し、大鹿村民や村を訪れる方々の不安と影響を極力低減するため、工事中における生活及び自然環境への影響対策の確実な実施により、安全安心な地域の維持、将来にわたる環境の保全と活力ある地域の発展を図るよう、リニア事業関係者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」を設置し、工事による影響調査の情報や住民意見などを共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行ってまいります。第 3 回大鹿村リニア連絡協議会が平成 29 年 6 月 27 日、交流センターに於いて、関係者 48 名が出席し開催されました。

■第 3 回 リニア連絡協議会 (平成 29 年 6 月 27 日 午後 7 時 00 分～8 時 20 分 開催)

○リニア工事及び関連工事について

工事スケジュール、工事の状況等について JR 東海および県担当者より説明がありました。

① (主)松川インター大鹿線改良工事について

【(仮称) 西下トンネル: L=878m】

・現在の進捗: 約 5 9 0 m

(※写真は (仮称) 西下トンネル施工ヤード)

【(仮称) 四徳渡トンネル: L=1,201m】

・現在の進捗: 約 4 2 0 m

*道路トンネルの発生土は、半の沢のモトクロス場へ仮置きしています。



■小渋線の工事用車両通行台数の実績 (往復)

	A 区間 (渡場～半の沢)	B 区間 (半の沢～西下トンネル)	C 区間 (西下トンネル～滝沢トンネル)	D 区間 (滝沢トンネル～大鹿方面)
西下工区	15.3 台/日 (2017.6)	216.7 台/日 (2017.6)	13.3 台/日 (2017.6)	
四徳工区	7.3 台/日 (2016.11)	236.6 台/日 (2017.5)		18.1 台/日 (2017.5)
南アトンネル	10.6 台/日 (2017.4)			

※工事用車両台数は、いずれも「月別日平均 (月延総台数を 1 月当りの工事稼働日数で割り戻した数値) の最大値」です。
※ (2017.6) の表記のものは、6 月 16 日までの集計データをもとに計算しています。

【現道拡幅 区間 5 (西下トンネル下)】

軽量盛土工 L=220m

- ・立木が無くなり恐怖感があるとの住民意見があり、目隠しパネルと一部ガードレールを設置しました。
- ・視通確保のため一部パネルを撤去しました。

(※写真は区間 5 目隠しパネル設置状況)



② 赤石岳公園線改良工事について

・現在、区間 4 (赤石荘手前) を施工中。近日中に区間 6 (日向休手前) に着手する予定。

③ 南アルプストンネル工事について

(小渋川非常口) 7 月 3 日より非常口トンネルの掘削を開始します。

(除山非常口) 防音ハウスの設置 (非常口とヤード内のざり仮置き場を覆う) に着手します。

④ その他

■保育所付近での環境測定結果（騒音・振動：5月30日12時～31日12時 連続24時間）について

① 騒音

等価騒音レベル(L _{Aeq}) (dB)			
調査結果		環境基準	
昼間	夜間	昼間	夜間
62	55	70	65

※「昼間」は、午前6時から午後10時までの間。
「夜間」は午後10時から翌日午前6時までの間。
※環境基準は「騒音に係る環境基準（環境基本法）」の
「幹線交通を担う道路に近接する空間」による。

③ 交通量

交通量（台/日）				
	大型車	小型車	バイク	合計
昼間	121	1,338	25	1,484
夜間	0	49	0	49
合計	121	1,387	25	1,533

※「昼間」は、午前6時から午後9時までの間。
「夜間」は午後9時から翌日午前6時までの間。

②振動

振動レベルの80%レンジの上端値(L ₁₀) (dB)	
調査結果	
昼間	夜間
< 25	< 25

※「< 25」は、振動計の下限値である25 dB未満であることを示す。
※「昼間」は、午前7時から午後7時までの間。
「夜間」は、午後7時から翌日午前7時までの間。



※保育所付近での大気質の測定結果（5月26日～6月1日 連続7日間）は、役場または大鹿分室で閲覧いただけます。

○意見交換

■小渋線の道路トンネル新設により小渋湖の景色が見えなくなる。旧道を活用してビューポイントをつくれませんか？

県の回答 道路管理者として道路トンネルが完成すれば旧道の管理は行わない。関係者と調整したい。

村の回答 県、中川村、大鹿村で協議する機会がある。検討したい。

■小渋線を通るダンプが増えるとともに道路脇のゴミも増えた。ダンプ運転手の通行マナーについて徹底願う。また、違法なホーン（警報器）を付けたダンプが走行している。

村の回答 ゴミの件は再度業者に（ポイ捨て禁止を）徹底する。

■工専用車両の通行台数（月別日平均）について、一番多くの車両が通行した日は何台であったか？

JRの回答 小渋線は西下、四徳渡いずれの工区も最大（日往復）で320台くらい。国道152号（市場通り）では、最大（日往復）で60台弱。

■三正坊橋の重量制限について、リニア工事への影響は？

県の回答 6月12日の法定点検で桁を支えるコンクリートに亀裂が発見された。14日から重量制限（4t車以上）を行なっている。現在工法・工事時期等についてJRと協議中。

JRの回答 重量制限により直ちに工事が止まるわけではないが非効率であるため、早急に補修工事を行いたい。

鹿島の回答 生コン車等は三正坊橋の手前で小さな車両に載せ替える等、小運搬している。

■JV宿舎の現在の収容人数は？

JRの回答 現在60人弱。

○次回（第4回）開催日程について

次回の開催時期を平成29年9月下旬とし閉会しました。

* 現在行われているリニア工事・調査の状況は、大鹿村ホームページ、大鹿村ケーブルテレビ文字放送・データ放送で確認いただけます。また、平成28年度に国道152号（小学校入口付近）で実施した移動コンテナ局による大気測定結果（速報値）は、役場リニア対策室で閲覧いただけます。